

機能水ニュースレター No. 124

2025年3月6日発行 一般財団法人機能水研究振興財団 編集担当 堀田国元・中藤誉子・清水雅俊

協力：日本機能水学会・(公財)レイ・パストゥール医学研究センター

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-20-8 Tel: 03-5435-8501, Fax: 03-5435-8522

E-mail: kinousui-zaidan@fwf.or.jp ホームページ: <http://www.fwf.or.jp>

報告：	機能水記念賞第1回授賞式	1
	生物安全実践講習会	2
	(第2回実践コースA・第5回実践コースB)	
お知らせ：	迅速検査研究会：第51回講演会	3
	第26回日本口腔機能水学会学術大会	4
	日本機能水学会：意見募集	4
	生物安全実践講習会：第7回基盤コース	5
	ifia JAPAN 2025	6
	日本機能水学会：第23回学術大会	6

機能水関連カレンダー

第26回日本口腔機能水学会学術大会	2025年3月8/9日(土/日)	明海大学浦安キャンパス(千葉)
迅速検査研究会：第51回講演会	2025年3月27日(木)	品川区民会館きゅりあん(東京)
生物安全実践講習会第7回基盤コース	2025年3月18日(火)	北里大学白金キャンパス(東京)
ifia JAPAN 2025	2025年5月21-24日(水-金)	東京ビッグサイト南棟(東京)
日本機能水学会第23回学術大会	2025年9月13/14日(土/日)	静岡労政会館(静岡市)

第1回機能水記念賞授賞式

機能水研究振興財団が、設立30周年(2023年)を迎えたことを機に、新たな公益事業として「機能水記念賞」を制定した。この賞は、「機能水分野の振興に関し、公益性または共益性の高い功績を挙げた個人または団体を表彰する」ことを目的としている。選考委員会(吉川敏一選考委員長)による推薦候補者の厳正な審査の結果、「機能水業界の形成と維持発展に関する貢献」を認めて第1回機能水記念賞は一般社団法人日本電解水協会に贈り、顕彰することに決まった。その授賞式と祝賀会が、2025年(令和7年)3月3日、四谷(東京)にある主婦会館(プラザエフ)において関係者40数名が出席し開催された。吉川委員長による選考理由の説明に続いて、機能水研究振興財団堀田国元理事長より表彰状と盾および目録が日本電解水協会の会長石渡幸則氏と副会長の田中賢治氏・浜谷希人氏に授与された。



第1回機能水記念賞受賞者

生物安全実践講習会

(公財) ルイ・パストゥール医学研究センターと(一財)機能水研究振興財団との共同公益事業である、
第2回実践コースA: 2月1/2日、山口県歯科医師会館(山口市)にて歯科医師の方々を対象に実施。
第5回実践コースB: 2月19/20日、iMEP(滋賀県南草津)にて実施。

第2回実践コースA 実習風景



第5回実践コースB 実習風景



<お知らせ>

**迅速検査
キットの
展示併設**

迅速検査研究会 第51回講演会 「迅速検査の現場での実用と価値」のご案内



3月27日@きゅりあん 7F イベントホール 迅速検査研究会 会長 川崎 晋

迅速検査研究会は 2025 年 3 月 27 日(木)、東京の品川区立総合区民会館「きゅりあん」で
第 51 回講演会「迅速検査の現場での実用と価値」を開催します。ふるってご参加ください。

プログラム(予定) 2025 年 3 月 27 日(木)(受付 12:00~) ※講演時間には質疑応答の時間も含まれます。

12:00~13:00	受付 ※受付スタッフにお名前を 1 枚お渡しください。 会場ロビーにおいて、迅速検査関連の資料の展示を行っております。
13:00~13:55 (55分)	【基調講演】迅速検査の意義と可能性—食品微生物の迅速検査でこれから何が期待できる? 迅速検査研究会 会長 川崎 晋 (国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)食品研究部門)
13:55~14:50 (55分)	【講演 I】生乳業界における迅速検査の現状、残留抗生物質スクリーニング検査の今後の展望 フォス・ジャパン株式会社セールスチーム 営業第 1 チーム セールスマネジャー 近藤 弘幸 先生
14:50~15:05	【迅速検査研究会 賛助会員プレゼンテーション①】株式会社シバサキ
15:05~15:30	休憩・展示 & 名刺交換タイム (終了後の展示はございません。ごゆっくり展示をご覧ください)
15:30~15:45	【迅速検査研究会 賛助会員プレゼンテーション②】株式会社協和医療器
15:45~16:40 (55分)	【講演 II】近年の液体充填装置と衛生管理 株式会社悠心 代表取締役社長 二瀬 克規 先生
16:40~16:55 (15分)	迅速検査研究会からのお知らせ 迅速検査研究会 理事 本間 茂 (ATP ふき取り検査相談センター 代表)

【お申し込み方法】 以下の 7 項目を記入し、下記メールアドレスまでお申し込みください。

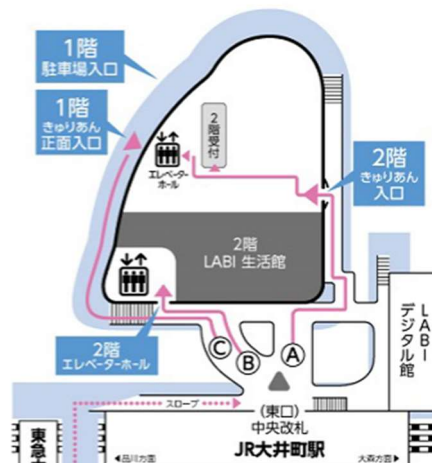
1. 所属・役職、2. 住所、3. 氏名、4. E-mail、5. 電話番号、6. 会員／非会員の別 (当会の賛助会員・法人会
機能水研究振興財団関係者は会員扱いとなります)

【メール送信先】 info@atp-jinsokukensa.com



各会場別進行ルート

ルート A	会館受付	2階
	講習室・会議室	4階~6階
ルート B	イベントホール	7階
	大ホール	8階
ルート C	きゅりあん正面入口	1階
	小ホール	1階



第26回日本口腔機能水学会 総会・学術大会

井上一彦先生（公財 ルイ・パストゥール医学研究センター）を大会長に「ゆりかごから墓場までの健康を目指して！地球環境と水～生体における機能水の応用と将来展望～」をテーマとして、下掲ポスターのように、2025年3月8・9日（土・日）、明海大学浦安キャンパスにて開催されます。

第26回 日本口腔機能水学会 総会・学術大会

ゆりかごから墓場までの健康を目指して！

地球環境と水

～生体における機能水の応用と将来展望～

日程 **2025年 3/8(土)・9(日)** **一般演題 募集中！**

会場 **明海大学 浦安キャンパス** **企業ブリーフィング開催**

〒279-8550 千葉県浦安市明海1丁目

<p>3月8日</p> <p>■特別講演1/ 福本 学 先生 東北大学 名誉教授、日本放射線影響学会 名誉会員 東北大学災害科学国際研究所 特任教授 演題：水と原子力・放射線そして福島原発事故被災動物</p> <p>■特別講演2/ 島崎 大 先生 国立保健医療科学院 生活環境研究部 水質研究領域 上席主任研究官 演題：水道の災害対策について</p> <p>■教育講演1/ 堀田国元 先生 （一財）機能水研究会 理事 演題：機能水概論</p> <p>■教育講演2/ 高木弘隆 先生 国立感染症研究所 安全管理研究センター 演題：コロナ禍の現状と感染症の現在と未来</p>	<p>3月9日</p> <p>■特別講演1/ 真木吉信 先生 東京歯科大学 名誉教授 演題：コロナ禍後の口腔内カリエス 根面う蝕と予防フッ化物応用と機能水</p> <p>■特別講演2/ 泉福英信 先生 日本大学校戸崎学部 感染免疫学講座 教授 演題：コロナ禍における院内感染対策と消毒剤の評価</p> <p>■特別講演3/ 西田哲也 先生 日本口腔機能水学会 会長 演題：歯周疾患と機能水応用</p>
--	---

<p>参加費</p> <p>●会員 事前申込：6,000円 当日参加：7,000円</p>	<p>●非会員 事前申込：7,000円 当日参加：8,000円</p>	<p>●看護師、歯科衛生士、技工士：3,000円 ●学生：3,000円 ●聴衆会：6,000円</p>
--	---	---

※当日のお支払い現金のみ。事前の銀行振込は3日前まで承っております。

※スケジュールは当日変更になることもございます。予めご了承ください。

当日は企業の出展ブースコーナーもございます

大会長 井上一彦 公財法人ルイ・パストゥール医学研究センター

実行委員長 寺山隼人 明海大学学務部 千葉大学予防医学センター 山田農場 環境予防医学研究センター

副実行委員長 杉澤 満 杉澤歯科医院 川上 智史 埼玉大学 医療保健学部 愛知歯科大学 歯学部

会場までの交通アクセス 新浦安駅から徒歩約8分
アクセスルートは右記QRをご参照ください▶ <https://www.meikai.ac.jp/access/urayasu/>

日本口腔機能水学会 事務局：
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-31-2-2F
TEL: 03-6240-0179 FAX: 050-3730-8505
お問い合わせ：平日 10:00～17:00

詳細・申込は学会ホームページをご覧ください

日本口腔機能水学会
 学会HP▶ <http://www.kinousui.com>


日本機能水学会： 会則に関する意見募集

日本機能水学会では、2025年度の役員（理事と監事）と評議員の改選に当たって会則規定に問題があることが見出されました。現行会則に従うと、全員交代となるため、学会運営が立ち行かなくなることとなります。そこで、理事会と評議員会で議論の結果、任期を4年とし、改選期に半数が交替できるように会則を改めることになりました。しかし、この方式がスムーズにいくためには、2025年度の改選の際に理事と評議員の半数を2年とする特例を設ける必要があります。そこで、理事会と評議員会では吉川敏一理事長と堀田国元事務局長に特例の選出を委ねることになりました。このことについて広く機能水学会正会員の意見を求めることになりました。ご意見お有りの方は、学会事務局 (kinousui-gakkai@fwf.or.jp) 宛てに3月末までにお寄せ下さい。



生物安全実践講習会

第7回 基盤コース

日時：令和7年3月18日(火) 9:00~17:00

会場：北里大学白金キャンパス
 「薬学部1号館 6階 1603多目的室」
 [アクセス:東京メトロ南北線 白金高輪駅より徒歩10分]

内容：病原体の性状、取扱いおよび管理のために
 必要な先進的知識と技術に関する座学と実習

受講料：20,000円 / 名 (座学と実習のテキスト事前配布)

募集締切：令和7年3月7日(金) ※募集定員に達し次第終了

申込方法：生物安全実践講習会ホームページの「開催案内」より
<https://biosafetyforum.wixsite.com/seibutuanzen>

事務局：生物安全実践講習会事務局 担当 清水雅俊 (kinousui-zaidan@fwf.or.jp)



【予定プログラム】

区分	題目	座学講師・実習指導者
午前	ガイダンス 講習会概要	堀田 国元 機能水研究振興財団 理事長
	座学1 感染症概論	木ノ本 雅通 元国立感染症研究所 主任研究官
	座学2 病原体概論Ⅰ-細菌-	高山 陽子 北里大学医学部 教授
	座学3 病原体概論Ⅱ-ウイルス-	野田 衛 国立医薬品食品衛生研究所 客員研究員
	座学4 感染防御概論Ⅰ-感染経路対策-	堀田 国元 機能水研究振興財団 理事長 立石 亘 迅速検査研究会
	座学5 感染防御概論Ⅱ-殺菌・消毒-	岩澤 篤郎 東京医療保健大学 教授
特別講演	生物安全に関わる 今知っておくべき新知識・新情報(仮)	花木 秀明 北里大学大村智記念研究所感染制御センター長
午後	実習 衛生的な手洗い	サラヤ株式会社
	ATP拭き取り検査	キッコーマンバイオケミファ株式会社
	生菌の顕微鏡観察	株式会社mil-kin
	个人防护具の装着(マスク)	興研株式会社



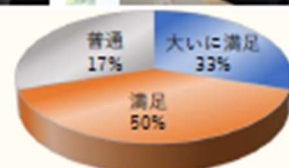
＜受講生の声＞
 講習会満足度

※HPにダイジェスト動画掲載中

「座学」



「実習」



ifia JAPAN 2025

会期・会場：2025年5月21～23日（水～金）・東京ビッグサイト南ホール/会議棟

展示ブース：A123 機能水研究振興財団様/日本電解水協会

食の安全・科学エリア

講演セッション： 2025年5月22日 11:20～13:20

テーマ：電解水・ネクストステージへの展望

基調講演： 次亜塩素酸水の温故創新 堀田國元（一財）機能水研究振興財団

講演： 有機農産物の市場拡大に寄与する電解水 石渡幸則（一社）日本電解水協会

演題未定 平山誠（JGAP 指導員）

演題未定 立石亘（迅速検査研究会）

日本機能水学会第23回学術大会

テーマ：機能水の活用とエビデンス～QOLの向上へ向けて～

大会長：内藤博敬 先生（静岡県立農林環境専門職大学教授）

会期・会場：2025年9月13～14日（土～日）・静岡労政会館ホール

大会長あいさつ

この度、第23回日本機能水学会学術大会を静岡で開催させていただくこととなり、若輩ながら大会長を拝命いたしました。昨年は佐藤 勉先生のご尽力により、人間、動物そして環境を一体的に捉えたワンヘルスやのSDGsの観点から機能水の活用を考えた素晴らしい学術大会・技術交流会となりました。今回は私たちの生活をより豊かにする機能水をさらに広めるための科学的アプローチをテーマに、静岡市の静岡労政会館（静岡県勤労者総合会館内）にて行います。静岡県は4本の主要河川を有し、東西に長く伸びる海岸線と富士山、南アルプスを初めとした山々を配す、水と土壌の豊かな県です。こうしたことからお茶やみかんに代表される農林業の盛んな県ですが、県東部は医療・健康関連産業が多く「ファルマバレー」、県中部は食品関連産業を中心とした「フーズ・ヘルスケア」、県西部は光・電子技術を基盤とする「フォトンバレー」の、新産業集積クラスター形成を推進してきたものづくり産業県でもあります。本大会の静岡県での開催は10年ぶりですが、静岡市での開催は初となります。依然として東海道新幹線の「のぞみ」は停車しませんので、「ひかり」または「こだま」でゆったりと静岡までお越しいただき、大会を盛り上げていただけると幸いです。

この数年の日本では、地震や火山活動はもとより、ゲリラ豪雨、線状降水（雪）帯や大規模な山火事など、これまで経験したことのない自然災害に見舞われるようになりました。私が堀田先生にお声がけいただいて本学会へ参加したのも、東日本大震災の被災地で行った感染予防啓発がきっかけでした。静岡は南海トラフ地震の被災想定エリアでもあり、前大会のパネルディスカッションで展開した災害時の機能水利用についての議論は今回も深めていきたいと思えます。一方で、平時の機能水利用も進めていきたい思いも強くあります。2025年は、国民の5人に1人が後期高齢者となり、医療や介護、雇用などの幅広い分野の社会課題が、私たちの生活に深刻な影響を及ぼすと考えられています。こうした中、厚労省では国民健康づくり対策として健康日本21（第三次）を令和6年にスタートしています。健康増進（ヘルスケア）は、個人にとっても生活の質（Quality of life）の向上につながります。機能水の利用は、QOLを構成領域の生活環境や身体的領域に強く影響するものと考えます。そこで今大会のテーマを、「能水の活用とエビデンス ～QOLの向上へ向けて～」といたしました。

プログラムとして、招待・教育講演をはじめ、理化学技術セッション、一般演題セッション、国際セッション、大会長講演を予定し、準備を進めております。皆様の参加を心よりお待ちしております。